



将来を担う子供たちを 防災リーダーに!!



愛知県高浜市高浜の防災を考える市民の会
代表 福島 伸一郎

1 高浜の防災を考える 市民の会

設立背景

東日本大震災が発災し大変な被害が出ました。大津波が襲来することをいち早く察知し中学生が同地区の小学校、幼稚園の子供たちに呼びかけ高台に避難誘導しそれを見ていた地域住民も一緒に避難、その地区からは一人の犠牲者も出なかったのです。その中学生たちは過去8年間大学教授の指導の下、毎年避難訓練を実施してきましたそうです。マスコミでは「釜石の奇跡」と称賛していましたが、中学生は訓練を参考にして行動したので決して奇跡ではないと話しています。

私が在住している地域で平成24年11月早朝5時に津波避難訓練を実施しました。しかし一番参加してほしい20代～40代の人達の参加率が低い結果となりました。

この状況を何とかしなければと考え、大人が駄目なら子供に防災教育をするしかないと思い平成25年4月にこの会を立ち上げました。

2 子供防災リーダー養成講座

高浜市には5小学校があります。4年生～6年生の児童に学校を通じて募集し、防災に関心のある児童が参加しています。

年間講座内容

関係者を招いて開講式を行います。

第1回講座 地震災害の基礎知識（日本の地理的現状等）、高浜市の被害想定等

ストローハウスでの耐震の講座他
第2回講座 避難所に関する知識（避難所での小学生の役割等）

HUG、感染症の予防及び対応の仕方、小学生の避難所での役割等

第3回講座 被災地訪問 行程として令和7年度能登地方2泊3日を予定

現地語り部さん講話、視察、ボランティア活動、地域住民との交流会開催

第4回講座 VRによる地震体験、被災地訪問後の意見まとめ発表

行政によるVR体験、マイタイムラインの作成

「たかはまっ子防災かるた」取り大会

第5回講座 市主催総合防災訓練参加
市内5か所の訓練拠点に出身地域の訓練に参加してもらう

第6回講座 講座のまとめ発表

クロスロードゲーム、ワークショップ、修了書授与



ストローハウス製作

3 中学生防災・減災アカデミー

平成27年4月、子供防災リーダー養成講座を卒業した中学生から今後も防災の知識

を身に付けたいとの声上がり中学1年生～3年生（今年度11年目）には小学生よりもより高度な知識を身に付けてもらうように「中学生防災・減災アカデミー」を立ち上げ地域の防災リーダーを養成するべく活動しています。

令和6年度講座の内容

第1回講座

- ・防災減災の基礎知識として地震の仕組みや、過去の災害の事例、高浜市の被害想定を勉強してもらっています。
- ・外部講師（アレルギー専門の防災士）に来ていただき避難所でのアレルギー対策の講座を行いました。

第2回講座

- ・救急救命士によるAEDの取り扱いの実技、心肺蘇生術を行い中学生ができることを学び地域の役に立つことを目指しています。
- ・行政の協力を得てVRによる地震体験を実施しました。

第3回講座

- ・被災地訪問、ボランティア活動、地域住民の皆様との交流会を実施しました。
- ・令和6年度は1月に発生した能登半島地震の被災地を訪問し語り部さんの話を拝聴しました。

第4回講座

- ・高浜市主催の総合防災訓練参加。
- ・中学生はメイン会場にて炊き出し訓練に参加、おにぎりを作り参加者に配布する訓練を実施しました。

第5回講座

- ・第2回講座での心肺蘇生術をもう少し勉強したいと中学生から申し出があり時間をとって勉強してもらいました。

第6回講座

- ・中学生が主体となり、過去5回の講座

の振り返りを行い用紙にまとめ各グループで、今後の防災減災に努めることを発表しました。

- ・修了書授与を行い令和6年度の講座が終了しました。



令和6年能登半島地震被災地訪問

平成28年には過去2年間の講座で学んだことをカルタにするため、受講生が読み札を作りました。取り札は読み札の句に沿ったデザインを県立高浜高校イラスト研究部で作成しました。



たかはまっ子防災かるた

4 今後に向けて

今後も小中学生に防災教育を実施していきたいと思っています。また外国ルーツの住民が多くなってきています。防災に関心を持ってもらうように啓発活動を実施していきたいと考えています。高浜市から一人の犠牲者も出さないために日々努力してまいります。